

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和6年度)

調査表

施設名	宮崎県ひなもり台県民ふれあいの森
指定管理者	公益社団法人 宮崎県森林林業協会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
県所管部課	環境森林部 森林経営課

1 施設利用状況

指標	R6	R5	R4	増減理由等
ふれあいの森利用者数(人)	72,296	78,793	74,584	天候の影響や積雪による臨時休園、冬期(12/15～3/14)に休園日(毎週火曜日)を設けたことにより減少した。
オートキャンプ場利用者数(人)	16,725	20,561	20,060	
主催事業参加者数(人)	2,926	2,831	1,297	
コメント	主催事業においては、計画に基づきイベントが開催されており昨年よりも参加者は増加しているが、目標値(3700人)を下回っており、魅力ある催事の開催や積極的な広報活動による参加者を増やしていく必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R6	R5	R4	支出	R6	R5	R4
指定管理料	32,800	29,500	29,500	人件費	30,490	29,579	30,679
利用料金収入	31,722	37,250	36,221	報償費	235	250	224
受取負担金	0	0	0	旅費	106	492	272
雑収入	552	421	337	需用費	12,683	11,172	11,726
				役務費	898	1,219	2,810
				賃借料	1,452	1,639	1,523
				保険料	412	392	346
				負担金	56	66	64
				委託料	9,786	10,449	9,188
				租税公課	3,522	3,790	3,652
				その他	1,745	986	1,131
				県納付金	2,783	7,209	6,694
合計(①)	65,074	67,171	66,058	合計(②)	64,168	67,243	68,309
収支差額(①-②)	906	-72	-2,251				
コメント	利用者の減少等により利用料金収入は減少したが、令和6年度より県への利用料納付金の算定基準が変更され納付金額が減少し収支が改善した。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和6年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	宿泊施設、森林体育館、管理車道等の清掃(随時)
	保守・点検	消防設備点検(年2回)、電気設備保守点検(月1回)、浄化槽保守点検(週1回)、給水設備保守点検(随時)等
	警備	園内巡回、宿直体制による警備(キャンプ場に宿泊者がいる場合)
	修繕	センターハウスロビー照明修理、キュービクル切替スイッチ取替、集合訓練広場側溝鉄蓋修繕等
	備品等管理	備品台帳の整備
	安全対策	作業器具の技術研修、救急救命講習会、自衛消防訓練、避難訓練
	その他	芝生管理、植栽木維持(剪定)
企画運営業務	サービス提供体制整備	メンバーズ割引・子育て支援割引・障がい者割引・ゆったりキャンプ割引(冬期のアーリーチェックイン、レイトチェックアウト)、利用者満足度調査(アンケート)の実施、苦情処理検討会の開催、ひなもり台利用促進協議会の開催、車椅子無料貸出
	イベント等ソフト面充実	企業訪問、イベント案内チラシの発送、新聞・雑誌掲載等による広報活動、Instagram・スタッフブログによる情報発信、年賀状発送によるリピーターの獲得、ひなもりフェス、草木染め等自主イベントの開催
	施設設備等ハード面充実	キッズコーナー(積み木・ウッドプール・絵本)の拡充
	その他	地元産品・オリジナルグッズの販売
管理運営体制	職員の能力を育成する接遇研修や技術研修等の実施	
コメント	維持管理業務は施設の清掃等に加え、職員の技術研修等も実施するなど適正に行われている。企画運営業務は、各種割引制度や広報活動の実施等、積極的に利用者拡大に向けた取組を行っている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
	施設・設備の管理や職員対応等については概ね高い評価を得ているが、木製遊具について増設の要望がある。	引き続き県と連携しながら検討していく。
	オートキャンプ場のWi-Fiが繋がりにくい場所があり改善の要望がある。	引き続き県と連携しながら検討していく。

5 総合評価

評価コメント	マスメディアやSNSを活用した積極的な情報配信、職員の接遇マナー研修の実施、きめ細かな場内整備などを通じて、常にリピーターの確保やサービスの向上に取り組んでいる。その結果、利用者からは高い評価を得るとともに、オートキャンプ場は5つ星(最高評価)の認定を受けるなど、良好な管理運営が行われている。
今後の課題と対応	天候や周辺環境等の影響を考慮し、引き続き安全第一の運営を行っていくとともに、利用者増加のため、イベントの充実や広報活動を行っていく必要がある。